

Title	追悼の辞
Sub Title	
Author	豊泉, 貫太郎(Toyoizumi, Kantaro)
Publisher	慶應義塾大学大学院法務研究科
Publication year	2008
Jtitle	慶應法学 (Keio law journal). No.9 (2008. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	堀口磊藏教授追悼号 = A special issue in memory of the Late Professor Horiguchi Raizo
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA1203413X-20080215--003

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

追悼の辞

本巻は故堀口磊藏教授に献呈されるものである。

堀口氏は平成16年4月法務研究科発足と同時に教授に就任され、約3年に亘り民法総合、サイバー法等の授業を担当され熱心に指導された。元々健康に優れなかった上に実務と両立しての教授活動は、その準備を含め同氏に多大のご負担をおかけしたと考え、申し訳ない気持で一杯である。しかし同氏の優れた分析力と純粋なまでの不正を斥ける姿は将来法曹となろうとする学生達に必ずや大きな感銘を与えたことと考える。氏は平成19年3月12日にご逝去されたが、その後に起きた不幸な事件の対応に関し、同氏ならどう考えるか聞きたい衝動にかられたことが一再ならずあった。同氏の在任期間は決して長くはなかったが、その姿勢を示したことで永く勁く各々の胸の内に生き続けるものと確信する。

いまはただ若干照れを含むあの笑顔を懐かしく思い、長年の友として同氏の霊安らかんことを祈り、深く感謝を申し上げる。

平成20年2月

法務研究科委員長

豊泉貫太郎